

## 第3次新潟市食育推進計画 数値指標一覧

NO	指標	対象	集計方法等	策定時	実績	実績	出展・調査時期	目標値	コメント・次年度に向けての対策等	所管課
				平成28年度	平成29年度	平成30年度		平成30年度		
<b>1 えらぶ</b>										
1	「食(食事や食習慣)」に関心を持っている市民の割合	20歳以上	「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」	83.8%	83.1%	78.7%		90.0%		食と花の推進課
2	生活習慣病の予防や改善のために、普段から適正体重の維持や、減塩、野菜の摂取などに気をつけた食生活を実践している市民の割合	20歳以上	「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」	62.4%	63.2%	65.3%		75.0%		食と花の推進課 健康増進課
3	身近な場所でとれた食材を選ぶ市民の割合	20歳以上	「いつも選ぶようにしている」「なるべく選ぶようにしている」	74.8%	73.5%	77.0%	「食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」(H30年12月)	80.0%		食と花の推進課
4	食べ物を無駄にしないよう行動している市民の割合	20歳以上	何らかの行動をしている	84.8%	83.7%	83.5%		90.0%		食と花の推進課
5	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断することができる市民の割合	20歳以上	「いつも判断している」「判断している」	63.3%	65.2%	69.3%		80.0%	新潟市食の安全基本方針に基づいた取組を推進します。	食の安全推進課
		20歳代・30歳代		53.4%	58.9%	63.9%		65.0%		
<b>2 つくる</b>										
6	学校給食における地場産物を使用する割合(食材数ベース)	市内産	-	16.6%	16.0%	15.6%	「地場産農林水産物の年間使用食品数調査」(H30年4月～H31年3月)	16.0%	農林水産部や区の協力も得て、市内産の使用を推進しましたが、天候不順等の影響により食材の値上げ等で使用率が思うように伸びませんでした。引き続き使用の拡大に努めます。	保健給食課
		<参考>県内産	-	31.3%	31.0%	30.3%		-		
7	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法が大切だと思う市民の割合	20歳以上	「大切だと思う」	82.0%	79.5%	77.9%	「食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」(H30年12月)	85.0%		食と花の推進課 健康増進課 保健給食課
8	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法などを受け継いでいる市民の割合	20歳以上	「受け継いでいる」	54.7%	53.5%	52.6%		70.0%		
		<参考>受け継ぎ、伝えている	「受け継いでいる」かつ「伝えている」	37.5%	34.5%	-		-		
20歳代・30歳代	「受け継いでいる」	48.7%	48.1%	45.9%	60.0%					
9	新潟市食育マスター派遣事業の実施回数	実施回数	-	200回	217回	137回	H31年3月	200回	運用方法の変更により、1団体当たりの利用回数を2回/年から1回/年とした。	食と花の推進課
10	拠点施設等における食育の実践を促す事業の実施回数(主催料理教室・団体体験プログラム・味覚体験等)	実施回数	-	173回	191回	211回	H31年3月	200回		食育・花育センター
<b>3 たべる</b>										
11	主食・主菜・副菜のそろった食事をしている市民の割合	20歳以上	1日2回以上	67.1%	66.5%	68.8%	「食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」(H30年12月)	80.0%		食と花の推進課 健康増進課
		20歳代・30歳代		49.5%	52.4%	54.1%		70.0%		
12	ゆっくりよく噛んで味わって食べる市民の割合	20歳以上	「ゆっくりよく噛んで食べている」「どちらかといえばゆっくりよく噛んで食べている」	51.6%	54.8%	56.7%	「新潟市生活・学習意識調査」(H30年11月)	55.0%		食と花の推進課 健康増進課
13	朝食を欠食する市民の割合	20歳代・30歳代	「ほとんど食べない」「週に1～2回食べる」	19.5%	21.2%	19.2%		15.0%以下		
		小・中学生	学校へ行く前に朝食をとるか	1.5%	1.6%	1.7%	0.0%			
		<参考>小学生	「とらないことが多い」	1.1%	1.2%	1.2%	-			
<参考>中学生	「全く、ほとんどとらない」	1.9%	1.9%	2.0%	-					
14	「共食」が大切だと思う市民の割合	20歳以上	「大切だと思う」	85.6%	83.5%	84.1%	「食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」(H30年12月)	90.0%		食と花の推進課
15	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加	20歳以上	1週間の間に朝食または夕食を家族と一緒に食べた回数	9.9回	9.4回	9.6回		11回		
<b>4 育てる</b>										
16	農林漁業体験を経験した市民(世帯)の割合の増加	-	自身や家族の中に農林漁業体験に参加したことのある人が「いる」	27.2%	28.9%	27.6%	「食育・健康づくりに関する市民アンケート調査」(H30年12月)	40.0%		食と花の推進課
17	農業体験学習を実施している小学校の割合	市立小学校	-	100%	100.0%	100.0%	H31年3月	100%		食と花の推進課 学校支援課
18	食育の推進に関わるボランティアの数(新潟市食育マスター)	食育マスター登録数	-	101人・団体	112人・団体	116人・団体	H31年3月	100人・団体		食と花の推進課
		<参考>食生活改善推進委員	-	456人	476人	473人	H30年4月時点	-	計画的な養成講座の実施	健康増進課
再19	新潟市食育マスター派遣事業の実施回数	実施回数	-	200回	217回	137回	H31年3月	200回	運用方法の変更により、1団体当たりの利用回数を2回/年から1回/年とした。	食と花の推進課
再20	拠点施設等における食育の実践を促す事業の実施回数(主催料理教室・団体体験プログラム・味覚体験等)	実施回数	-	173回	191回	211回	H31年3月	200回		食育・花育センター

※ 策定時の数値は、①第2次計画のH26実績値、②第3次基本計画の現状値、③現時点で根拠となる数値なしのいずれかで設定。

※ 目標値は、①第2次計画の目標値を引継ぐ、②第3次基本計画の目標値、③策定時に根拠となる数値がない場合には意識:80%、実践:70%、④政策的指標は現状の実施回数を踏まえて設定。